

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-530027 (P2004-530027A)

【公表日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)

【年通号数】公開・登録公報 2004-038

【出願番号】特願 2003-502110 (P2003-502110)

【国際特許分類】

C 0 9 D 1/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/63 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 183/02 (2006.01)

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

C 0 9 D 185/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 1/00

A 6 1 K 7/00 B

A 6 1 K 7/00 G

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 183/02

C 0 9 D 183/04

C 0 9 D 185/04

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 20 日 (2005.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

活性物質および／または活性成分を含む組成物、より特には、フィルム、層、および／またはコーティングを形成するための組成物を製造する方法であって、

(a) 適当なキャリアー分子に少なくとも 1 つの活性物質および／または活性成分を担持させる工程；

(b) 必要に応じて適当な溶媒または分散剤を存在させて、工程 (a) で担持させられたキャリアー分子と適当なゾル／ゲル前駆物質との均一な混合物を調製する工程；

(c) 活性物質および／または活性成分を担持させたキャリアー分子が組み込まれた、好ましくは多孔性であるゾル／ゲルマトリックスを形成するために、ゾル／ゲルプロセスを、工程 (b) で調製した混合物中で実施する工程；

(d) 存在する溶媒または分散剤を除去するために、且つ活性物質および／または活性成分を担持させたキャリアー分子が組み込まれた、好ましくは多孔性であるゾル／ゲルガラスマトリックスを、好ましくはポリケイ酸、シリケート、ボレート、および／またはアルミン酸塩をベースとして形成するために、工程 (c) で形成したゾル／ゲルマトリックスを必要に応じて加熱する工程

を含むことを特徴とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 8】

活性物質および／または活性成分を担持させたキャリアー分子を組み込んだ形態で含む好ましくは多孔性であるゾル／ゲルマトリックスで被覆されたキャリアー表面を熱処理に付して、存在する溶媒または分散剤を除去し、且つ、好ましくはシリケート、ポリケイ酸、ボレートおよび／またはアルミン酸塩をベースとする好ましくは多孔性であるゾル／ゲルガラスマトリックスであって、活性物質および／または活性成分を担持させたキャリアー分子を、組み込んだ形態にて、好ましくは当該分子がマトリックス中に均一に分散された状態で含むゾル／ゲルガラスマトリックスで被覆されたキャリアー表面を形成することを特徴とする、請求項 1 7 に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】

分子キャビティ、ポイド、ポア、またはチャンネル等に組み込まれ及び／又は錯化された活性物質および／または活性成分分子を有するキャリアー分子を、好ましくはマトリックス全体にわたって均一に分散させて組み込むためのフィルム、カバリング、層および／またはコーティングであって、ポリケイ酸、シリケート、ボレート、および／またはアルミン酸塩をより特にはベースとする、好ましくは多孔性であるゾル／ゲルガラスマトリックスを好ましくは有するフィルム、カバリング、層および／またはコーティング。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 5】

請求項 2 3 または請求項 2 4 に記載のフィルム、カバリング、層および／またはコーティングが塗布されている、表面、より特には不活性な物質の表面。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

本発明はまた、本発明の方法により得られる活性物質および／または活性成分を含む組成物であって、より特には、フィルム、カバリング、層および／またはコーティングを形成するための組成物に関し、また、当該組成物で形成されたフィルム、カバリング、層および／またはコーティングに関する。フィルム、カバリング、層および／またはコーティングは、特に、分子キャビティ、ポイド、ポア、またはチャンネル等に組み込まれ及び／または錯化された活性物質および／または活性成分分子を有するキャリアー分子を、好ましくはマトリックス全体にわたって均一に分散させて組み込むためのフィルム、カバリング、層および／またはコーティングであって、ポリケイ酸、シリケート、ボレート (borate)、および／またはアルミン酸塩をより特にはベースとする、好ましくは多孔性であるゾル／ゲルガラスマトリックスを好ましくは有するものである。上述したように、本発明の目的のためには、フィルム、カバリング、層またはコーティング等の厚さは、1 0 0 nm ~ 1 0 mm であることが好ましく、より特には 1 0 0 0 nm ~ 2 mm が好ましい。